



鷹野雅生 議会速報

GASHIN

Vol.2 2011.12

〒614-8011 京都府八幡市八幡垣内山 47
Tel 075-981-2496 / fax 075-981-5896

この号の内容

- 1 はじめに
- 2 放生川の再生
- 3 観光誘致
- 4 市民の活動拠点
- 5 市民の健康づくり

はじめに

12月4日に行われました八幡市民マラソン大会がありました。1620人の参加者があったという事で大成功だと思います。実は20km走ろうと思ったのですがトレーニングの時間がなかったものから10km走りました。一緒に走ってる中には高齢者の方も走っておられマラソンが非常に健康増進に役立っていると感じました。体を動かすことがいかに老化の防止につながってるか肌身で感じなんとか完走できました。ありがとうございます。

2回目の質問でまだ不慣れな点もありお聞き苦しい点もありますがお許しいただきたいと思います。

"GASHINとは"

GASHINの心は鷹野雅生の雅を使い、私のいち早いお知らせの「信」であり「真」を述べ、私の「心」を語らせていただきたいと願っております。

放生川の再生

私は平成15年から八幡の町をきれいにしたい、八幡を訪れる人により印象を持ってほしいとの思いから放生川の清掃活動に取り組み今年で9年目を迎えます。放生川の再生には市民も大きな関心を持っており第4次総合計画のリーディングプロジェクトと位置付け京都府との協議を進めていただき後期の5年間で実現したいと思っています。

現在の放生川は大谷川 維持用水ポンプでコノミヤの裏のところまで水が供給されていますが水量が少ないのがネックです。

しかし今では少しではありますが水流が見られ小魚やザリガニなどの生き物もみられるようになり、さざなみ公園や放生川の川べりには以前よりも人が集まってきているように感じられます。

京阪八幡市駅からたいこ橋までの石畳の道は右にはちまんさん、左に放生川が流れ訪れる方にやすらぎとうるおいを与える場所です。

まち歩きのスタート地点でもあり、ゴール地点でもある観光地に流れる癒しの放生川の水質浄化と水量を確保する為に橋本樋門、橋本橋付近の浚渫計画を行うと聞きました。

そこで下記事項を願います。

【質問】

- ・後期計画の位置付けと方向性について
- ・観光面からの地域振興の考えについて
- ・安居橋(通称:たいこ橋)の補修計画について

答弁

*後期計画における位置付けと方向性について。

都市管理部道路河川課

⇒放生川一帯を名実ともに市民や来訪者が集うシンボルゾーンとするべく第4次八幡市総合計画で重点的に取り組む5つのリーディングプロジェクトの一つに位置付けされております。重要な課題でございますので後期計画におきましてもリーディングプロジェクトと位置付けてまいりたいと考えております。

*観光面からの地域振興の考えについて。

環境経済部 商工観光課

⇒これまで実行委員会・観光協会と共催した数々のイベントに加え、平成23年度には八幡市駅前の観光案内所等の整備も着手し松花堂庭園、昭乗広場の整備を行う事といたしております。また平成23年7月には旧東高野街道沿いに新しい観光スポットとして商店等7館で組織された「まちかど博物館」がそれぞれ開設されました。

*安居橋(通称:たいこ橋)の補修計画について。

都市管理部道路河川課

⇒安居橋については放生川の景観シンボリックな存在として重要な橋でございます。平成3年の改修整備を行ってから20年が経ち老朽化が進んでおりますので大規模な改修が必要となっております。現在橋の長寿命化事業を進めておりその事業の一環として安居橋の補修改築工事費を平成24年度予算に計上させていただきたいと考えております。



11月18日に開催されました国の文化審議会 文化財 分科会におきまして「石清水八幡宮の境内」が国の史跡、指定の答申を受けました。

「はちまんさん」の国の史跡、指定を機会に人が八幡に集まり賑わう観光施策をどのように創るのが火急の課題になってきたと思います。

八幡のまちに観光客が賑わうのは石清水八幡宮の初詣と春の背割堤の桜の時期のほか、最近では駅前で集合してウォーキンググループが見られます。元気で余裕のある中高年グループと女性が主役の町歩きウォーキングが定着すれば京阪八幡市駅の乗降客も増え、波及効果もでて年間を通しまちに賑わいが出てくると考えます。

八幡の観光名所は八幡市駅より程よく点在し距離も適度なものとなっておりますがルート整備された観光マップや案内標識・バス路線などはまだまだ十分ではありません。観光誘致のターゲットの一つとしてまちウォーキンググループを誘致しそのための施策を策定して賑わいのある町にしていきたいと思っております。

そこで下記事項をお願いします。

【質問】

- ・人が賑わう観光施策を展開する考えについて
→数々の観光名所の対外的広報と対内部広報が足りてないのでは？
- ・ホームページの魅力ある情報の発信について
→観光分野の日々・月間のアクセス数は？
- ・大型商業施設の中に八幡市のPRコーナーを設置する考えについて
- ・散策路の年代層に対応する観光ルートづくりについて
→例) 子供連れルート・中高年ルート・身体障害者ルート etc.の宣伝

【要望】

- ・国の史跡に指定された後の保存・維持方法を所有者や関係者と話し合い良好な史跡としての文化財を次の世代に引き継げるよう進めていただきたいと思っております。

答弁

- *人が賑わう観光施策を展開する考えについて。

教育部文化財保護課

⇒石清水八幡宮の境内が史跡指定の答申を受け今後どのような取り組みができるのかを八幡市観光協会と協議をしております。平成23年度には八幡市駅前観光案内所・トイレの改築などに着手しこれらも活用した「観光・史跡マップ」や観光案内サインの設置等これまでに以上に注目されるPR活動に取り組みたいと考えております。

- *ホームページの魅力ある情報の発信について。

環境経済部 商工観光課

⇒春には桜の開花状況・秋にはウォーキングイベントなど時節に応じた情報の発信をし、今後も引き続き観光協会と連携し情報発信に努めてまいります。

市のHPから観光分野へのアクセス 月間平均 2,243件 (過去3カ月の平均)

市のHPから観光協会へのアクセス 月間平均 16,000件

- *大型商業施設の中に八幡市のPRコーナー設置について。

環境経済部 商工観光課

⇒現在市内大型商業施設8店舗のうち3店舗でPRコーナーにパンフレット設置・観光施設やガソリンスタンド9カ所に観光パンフレットなどの配布をしていただいております。今後も情報発信に努め八幡市のPR活動に取り組んでまいりたいと考えております。

- *散策路の年代層に対応する観光ルートづくりについて。

環境経済部 商工観光課

⇒各世代のお散策所要時間等がございますのでルート設定について観光協会と研究してまいりたいと存じます。

行政主導型から行政参加型へ
市民が使いやすいと実感できる
活動の拠点を目指す。

市民の活動の拠点

今会議で旧東小学校の南棟が市民の活動の拠点などに活用すると上程されました。市民活動がサポートできるように行政・地域・NPO、各団体が連携・協働し、各団体が運営指導などの相談や支援・PRをしてもらったりする事が必要だと考えます。市民の方々からやりたい・何とかしようと思っもらう「行政主導型」から「行政参加型」へと新しい流れが必要だと思います。

私が考えております活動拠点の必要な機能としては以下の通りです。

【情報センター】 ボランティア活動状況や関連施設のネットワーク化・民間の助成金情報発信など。

【作業コーナー】 印刷機やコピー機・貸しロッカーなどの整備、有償でも自由に使える空間。

【打ち合わせコーナー】 市民交流の場として予約なしで使えるフリー空間や予約制の会議室など。

そこでお伺いします。

【質問】

- ・市民活動の拠点のイメージについて。
- ・個人・NPO以外の団体の使用について。
- ・各団体の備品を収納できる保管するスペースについて。
- ・活動室の室数・個々での使用や活動スペースについて。
- ・使用時間帯・ロッカーやパソコンなどの設備について。
- ・各団体を支援するコーディネーター。財政支援などについて。

【要望】 NPO団体以外にも八幡市が認めた団体にも使えるようにしていただきたいと思います。

答弁

- *市民活動の拠点のイメージについて。 **政策推進部市民協働推進課**
⇒少子高齢化への対策など課題の解決に向けNPOと行政並びにNPO相互が交流、協働、連携するための拠点施設になるように検討しているところであります。
- *個人、NPO以外の団体使用について。 **政策推進部市民協働推進課**
⇒原則NPO活動の団体利用を考えていますがNPOに関心のある方、営利目的や宗教、政治など設置目的に沿わないものについての使用制限も検討しなければならないと考えています。
- *各団体の備品を収納できる保管スペースについて。 **政策推進部市民協働推進課**
⇒各NPO法人の情報提供のボックスやロッカーの設置は検討しているところであります。
- *活動室の室数・個々での使用や活動スペースについて。 **政策推進部市民協働推進課**
⇒法人に貸し出す予定の**多目的室2室**、法人の運営などに関する相談コーナーや協働フロアとしてコピー機ロッカー等設置予定の**活動室** パンフレット設置した**ロビー**を整備する予定です。
- *使用時間帯・ロッカーやパソコンなどの設備について。 **政策推進部市民協働推進課**
⇒ロッカーやコピー機を使用する際の料金の有無については現在検討中です。
- *各団体を支援するコーディネーター。財政支援などについて。 **政策推進部市民協働推進課**
⇒市民団体活動を充実するためコーディネーターは必要不可欠だと考えており市民と行政が対等に話し合える場など考えております。また併せて財政支援も検討させていただきます。



市民の健康づくり

今年9月中旬から八幡市では市民の皆さんが自らの健康管理をするために市内18施設、19カ所に体重計や血圧計、パンフレットなど活用していただく健康コーナーが設置されました。

庁内検討委員会では健康マップを検討され健康づくりに取り組まれています。

また、**健康な体になる事で医療費などの削減**にもなり健康づくりの推進は重要な課題であると思います。

高齢者の方も外に出て活動する事により心や体の病気を無くし健康保持に努め、それが介護予防にもつながると考えます。

平成21年度男山レクリエーションセンターのリニューアルに伴い11基の健康遊具が設置されました。せっかくの健康遊具もあまり利用されてなくては意味がありません。この健康遊具の更なる利用促進の為にPRしていただき高齢者が楽しく利用していただけるプログラムを作っていくのも大事だと思います。

そこでお伺いします。

【質問】

- ・公園ごとの利用状況の把握・設置の金額及び補助金の財源内訳について。
- ・使用方法などの講習会・各種イベントなどの利用促進の考え方について。
- ・今後の健康遊具の整備計画・設置計画について。
- ・世代間交流の場所として公園を活用する方法について。

【要望】

- ・来年度以降の健康づくり計画もたててもらえるようにお願いします。
- ・地域のニーズをきめ細かく掘り起こしていただくための色々な方法を検討してください。

答 弁

***公演ごとの利用状況把握・設置金額などについて。** まちづくり推進部まちづくり推進課
⇒いずれの遊具もどなたでも利用できる事から利用人数は把握できておりません。

設置の金額及び、助成金については合計17,517,000円で財源としましては京都府の市町村未来づくり交付金を活用し整備を行ったところでございます。

***使用方法などPR方法について。** まちづくり推進部まちづくり推進課

⇒公園施設事業団のHPに情報を掲載中で現在「八幡市健康づくり庁内連絡会議」で作成を検討中のウォーキングマップにも使用方法や公園を写真入りで紹介しさらなるPR活動を図ってまいります。健康遊具を利用したイベント等の開催についても同会議で検討中です。

***今後の健康遊具の整備計画・設置計画について。** まちづくり推進部まちづくり推進課

⇒現在のところ、さつき近隣公園、うぐいす公園にそれぞれ3基づつ設置を計画中です。

***世代間交流の場所として活用する方法について。** まちづくり推進部まちづくり推進課

⇒今後人口減少や高齢化社会を迎えるにあたり地域住民の実情を把握しニーズにあった公園

